

2021年9月吉日

会員の皆様

大阪府臨床心理士会会長 梨谷 竜也
研修委員会委員長 二見 真美

2021年度 大阪府臨床心理士会オンライン合同研修会のご案内

2021年度大阪府臨床心理士会合同研修会を下記の通り開催いたします。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、オンラインで実施することといたしました。Web会議システム Zoom を用いています。

オンラインでの合同研修会は、何かと不手際等もあるかと存じます。ご理解ご承知のほどお願い申し上げます。

合同研修会は、午前5分科会、午後4分科会を合わせて1日研修の形で実施します。

参加申込をされる場合は、同封の「**オンライン研修会に関する注意事項**」を必ず最後までお読みいただき、【4. 申込手続き】に沿ってお申込ください。先着順にて受付いたします。

※今回の研修は、イベントペイというツールを用いたオンラインでの申込になります。

※事前申込です。当日の参加はできません。

※申込状況によりご希望の研修会に参加できないことがございますので予めご容赦ください。

1. 日時：2021年11月28日（日） 10：00～17：00〔受付は9：30より開始〕

2. スケジュール：

9：30～10：00（午前の部 Zoom 入室可能時間）

10：00～12：30 午前の部

12：30～13：00 午前の部予備時間

研修一覧					
午前	A 内観法	B 緩和ケア	C 高齢者	D 自殺予防	E 犯罪心理

13：30～14：00（午後の部 Zoom 入室可能時間）

14：00～16：30 午後の部

16：30～17：00 午後の部予備時間

研修一覧				
午後	F 労働安全衛生	G 被災支援	H HSP	I 依存症

※合同研修会開催日より1カ月程度、オンラインの書籍販売を実施します。

詳細は、当会HP会員専用お知らせをご覧ください。

3. 研修内容：

◇ ◆ ◇ 午前の部 ◇ ◆ ◇

≪A≫ 内観法の基礎から内観面接士資格取得まで

日本で誕生した心理療法「内観療法」は世界で注目されている東洋的アプローチの心理療法の一つです。これまでは「内観法」として医療や教育、矯正教育の現場で高い効果をあげてきましたが、近年ではこの手法を応用した内観カウンセリングなどの実践も試みられ、集中内観の導入が難しい臨床現場への応用もはじまっています。

日本内観学会では 2018 年に学会認定内観研修施設、内観学会認定面接士制度が発足し内観学会認定面接士が育成されるようになりました。そこで今年度第 8 回国際内観学会にて講演される榛木美恵子先生をお招きし、内観法の基礎、実践のプロセス、日本内観学会認定内観面接士についてご紹介いただきます。またコロナ禍において有効な“昼半昼のやすらぎ内観”を体験していただきます。

企 画：私設相談部会
講 師：榛木 美恵子（大阪内観研修所）
司 会：浦 伸子（うらのぶこカウンセリングオフィス）

≪B≫ 緩和ケア・サイコオンコロジーを実践者より学ぶ

本研修では、がん医療はじめ多領域で他職種連携を実践しておられる松向寺真彩子先生を講師に迎え、緩和ケア・サイコオンコロジー領域での心理士の活動紹介、他職種へのコンサルテーションや医療従事者自身のメンタルケア支援や遺族への関わりなど、事例を交えて概説いただきます。

互いの専門性の尊重を重視した多職種とのリエゾン・コンサルテーション活動の実際をうかがい、QOLの向上を目指しつつ、病を抱える患者・家族をどう支援するかを学ぶ機会となることを意図しています。緩和ケア・サイコオンコロジー領域で働く方にも、緩和ケア・サイコオンコロジーを学んでみたいという方も、どうぞご参加ください。当日は座学講義だけでなく、演習（グループワーク）も行う予定です。

企 画：医療保健部会
講 師：松向寺 真彩子（市立豊中病院）
司 会：中 亮介（住友病院）

≪C≫ 福祉領域における高齢者心理臨床を考える～人生 100 年時代のサクセスフルエイジングを目指して～

超高齢社会を迎え地域社会では、要支援・要介護高齢者のみならず、健康な高齢者であってもご自身や次世代を含む家族成員に、様々な発達課題が垣間見えるケースが多くあります。支援者として、またご家族さらには自分の問題として、素敵なお迎え方や過ごし方を考えてみませんか？

本研修では、中年後期から高齢前期における「孤独」、高齢後期における心身の脆弱や認知症による「援助を受ける立場としての課題」、人生を閉じる「人生会議の在り方」等の切り口から、心理的支援の在り方を考えます。老年心理学・生涯発達心理学の最前線でご研究されてきた佐藤眞一先生と、臨床心理士でありケアマネージャーとしてご活躍の池田佳津子先生をお迎えして、今後の福祉領域における高齢者心理臨床のあり様をフロアの先生方とともに考えたいと思います。

企 画：福祉部会
講 師：佐藤 眞一（大阪大学大学院）
講 師：池田 佳津子（大阪府社会福祉事業団）
司 会：森本 美奈子（梅花女子大学）

《D》 学校における自殺予防 ～予防の基本と実際の取り組み～

コロナ禍、令和2年8月の児童生徒の自殺者数は、前年度と比較し全体で約2倍、また、女子高校生は約7倍となっています。こうした状況から、学校では、危機対応・事後対応だけでなく、児童生徒の自殺予防に係る取り組みが強化され、SCの参画への期待も高まっています。また、SCは日常の相談活動の中で、自殺をほのめかす児童生徒や、未遂の児童生徒のケース会議等に参加することもあり、その対応に苦慮することも少なくありません。本研修では、文部科学省の「児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議」委員をお務めになり教員とSCのご経験もある阪中順子先生、SCのご経験から学校で自殺予防教育を実践されている黒田典子先生をお招きし、学校における自殺予防の基本と実際の取り組みを学ぶ機会としたいと思います。

企 画：教育部会

講 師：阪中 順子（奈良女子大学大学院非常勤講師）

講 師：黒田 典子（神戸女学院大学カウンセリングルーム）

司 会：兵頭 俊宏（大阪市立大学カウンセリングルーム）

《E》 人はなぜその一線を越えるのか ～犯罪心理学者と考える～

警察庁が公表している犯罪統計資料によると、令和2年1～12月の刑法犯認知件数は614,231件となっています。（うち検挙件数279,185）

「犯罪は悪いこと」であると、誰もが経験的に知っているはずなのに、人はなぜ罪を犯すのでしょうか？犯罪に至った心理状態、社会背景にはどのような事柄が隠されているのでしょうか。

本研修では、犯罪心理学の権威であると同時に臨床心理士としての見識もお持ちであり、犯罪捜査やプロファイリング等、行動科学の専門家でもある越智啓太先生をお招きし、実際の事例や事件なども踏まえ、専門家の立場から加害者の心理や行動についてご教授いただきます。

そして犯罪者の心理状態や行動パターンを理解し、再犯防止、ひいては、犯罪発生防止に臨床心理士がいかに貢献できるかを考えていきたいと思えます。

企 画：司法矯正部会

講 師：越智 啓太（法政大学）

司 会：萩原 彩（大東市役所）

◀ F ▶ 「安全?」「衛生?」、今からでも知っておきたい基礎知識
～企業における「労働安全衛生」から学ぶ～

心理職として「心理的安全(性)」や「精神衛生」は身近なテーマであったり、聞き覚えのある言葉です。では労働者の安全や衛生について、私たちはどれだけのことを知っているのでしょうか。

労働者は労働安全衛生法に基づき保護されています。本研修では怪我や化学物質への暴露など仕事上の安全・衛生管理について、基本的な部分から学びます。怪我や事故、危険と隣り合わせの職場は、心理的にも大きな負担になります。しかし、原因は職場環境だけでなく、労働者個人の知的理解、性格傾向による問題も存在します。

講師は、企業で産業医も務める森口次郎先生にご登壇いただき、安全・衛生に対して職場改善と個人支援の両面から、心理職が積極的に関わっていけるように、心理学の知見を活かす方法についても考える研修を目指します。

企 画：産業部会

講 師：森口 次郎（京都工場保健会）

話題提供：村田 州央（三菱重工業株式会社）

司 会：関根 友実（一般社団法人おおさかメンタルヘルスケア研究所）

◀ G ▶ 大阪が被災したときの支援を考える

2019年の大阪北部地震は、自分たち自身が被災しながらもどのような支援を提供することができるのか、あるいは他機関とどのように連携し、外からの支援をどのように受け入れるか等について考えさせられる経験となりました。本研修では、近い将来起こるといわれている南海トラフ級の災害が起きた場合を念頭に置いた研修を行います。

講師として、熊本県臨床心理士・公認心理師協会事務局長の疋田先生をお招きします。疋田先生は、熊本震災の時に、組織の調整や外からの支援の受け入れ、実際の支援活動をご経験されています。本研修は、先生の講義を通じて、自分たちが被災した時に、臨床心理士として具体的にどのような支援ができるかについて学ぶ機会にできたらと思います。

企 画：被害者被災地等支援WG

講 師：疋田 忠寛（熊本県臨床心理士・公認心理師協会）

司 会：八木 一洋（彩都友誼会病院）

◀ H ▶ HSP (Highly Sensitive Person) を考える ～研究に基づく理解と取り組み～

近年、SNSや一般書籍、メディアなどでHighly Sensitive Person (HSP)という言葉が取り上げられ、社会的な関心が高まっています。それにともない、心理臨床の場面でもクライアントからHSPという言葉聞く機会が増えており、心理の専門家もHSPについて理解を深める必要があります。では、HSPとは一体何を表す言葉なのでしょうか？多くのメディアが取り上げるように、「繊細で生きづらい人」を表す言葉なのでしょうか？残念ながら、世間で発信されている情報は誤解が多く、適切な情報にたどり着きにくい現状です。それを踏まえ、本研修会では、HSPをご専門とする飯村周平先生をお招きし、HSPにかかわる学術的な考え方をご紹介します。

企 画：医療保健部会

講 師：飯村 周平（東京大学／日本学術振興会特別研究員）

司 会：吉村 幸恵（ベルランド総合病院）

≪ I ≫ アルコール・薬物依存症の地域援助

～当事者・飲食店経営者と共に考え、一緒につくるこれからの地域社会に向けて～

薬物と聞くと覚醒剤などを思い浮かべる方が多いですが、高アルコール飲料・カフェイン入り栄養ドリンク・市販の咳止め薬なども薬物だと警笛を鳴らす声が増えています。なかでも、アルコール度数 10 度をこえるストロング系酎ハイなどは、精神科医だけでなく、酒類の提供者からも、過剰摂取を危惧する声があがりはじめています。

本研修では、アルコール・薬物依存症の当事者かつ支援者であり、書籍やメディア等で著名な渡邊洋次郎氏から、ご自身の体験や人とのつながりへの思いをおうかがいするとともに、バーの経営者である鮎川正徳氏より、実務者側の思いについてお話しいたします。当事者・実務者・支援者が集い、どのようなつながりが、多くの人が暮らしやすい地域共生社会を叶えるために大切なのかを話し合いたいと思います。

企 画：福祉部会

講 師：渡邊 洋次郎 (NPO 法人いちごの会 リカバリハウスイチゴ)

話題提供：鮎川 正徳 (Bar 7th/alcobareno)

司 会：永福 沙都子 (つむぎ福祉会)

4. 申込手続き

※お申込は、オンライン(2020 年オンライン合同研修会と同じイベントペイ)で行っていただきます。パソコン、スマートフォン等をご用意ください。

【重要】なお、本案内は「大阪府臨床心理士会会員専用申込フォーム」となっております。

当会非会員の方には別の申込フォームを大阪府臨床心理士会HPにてご案内しております。

※お申込の前に、同封の「オンライン研修会に関する注意事項」をご一読ください。研修会の参加をもって、同意事項に同意されたことといたします。

① 申込(入金)締め切り:10 月 24 日(日) 締切厳守 ※事前申込のみ

② 参加費:大阪府臨床心理士会会員 3,000 円
非会員(但し、臨床心理士有資格者に限り)5,000 円

※入会希望の方は、10 月 24 日(日)までに入会をお済ませください。

※入会申込から入会登録の完了まで、早くても 2 週間程度は要します。

※年会費を 2 年以上滞納された場合、除籍となります。ご注意ください。

③ 参加ご希望の方は、以下のURLあるいは二次元バーコードにアクセスし、申込フォームにご入力ください。当会ホームページでも確認いただけます。

※この申込フォームは会員専用です。非会員の方は大阪府臨床心理士会HPに非会員用申込フォームがあります。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=1573059353461105&EventCode=5373262850



- ・手数料は 220 円です。
- ・システム上、1つの分科会につき、【会員】1500 円表示されています。1つの分科会のみのお申込は受け付けられません。必ず、午前1つ午後1つを選択ください。
- ・午前1つ午後1つを選択しますと、次のページには、午前「1人」、午後「1人」、合計「2人」とシステム上表示されますが、「おひとりの参加者が午前1つ午後1つ、計2つの分科会を選択した」こととなります。
- ・申込フォームに入力されたお名前や臨床心理士番号、メールアドレスなどが、当会の会員確認となります。
- ・ご入力されるメールアドレスが、eventpay.jpからのメールを受信するよう設定を確認してください。携帯電話端末向けに提供されているメールアドレス(キャリアメール)でのお申込の場合、eventpay.jpから受信できないことが多いようです。また、eventpay.jpから受信したメールが、誤って迷惑メールフォルダに分類される場合もありますのでご注意ください。
- ・申込エラーが表示された場合、1つしか分科会を選択していない、1つのメールアドレスで2回目の申込をしているなどの理由があります。必要に応じて前のページに戻り、申込情報の確認をお願いします。
- ・申込後、入金の確認されると、「入金を確認いたしました」と入金確認メールが送信されます。入金が確認された時点で、参加申込は完了です。期限内に入金がないと、申込は自動的にキャンセルされます。
- ・一度納入された費用は、いかなる理由があっても返金できません。ご了承ください。

④ 参加申込の完了後の返金および分科会の変更はできません。

⑤ 参加申込を完了された参加者には、11月中旬に、分科会の ZoomURL や研修資料について、申込フォームに入力されたメールアドレスにお知らせします。

※ZoomURLや研修資料については、osccponline@gmail.comから連絡いたします。
お申込のメールアドレスがGmailを受信できるよう設定をご確認ください。

⑥ 万が一、11月18日までにメールが届かない場合、下記事務局までお問い合わせください。

お問い合わせはお早めをお願い致します。前日や当日にお問合せ頂いても対応できかねます。

⑦ 本研修は、日本臨床心理士資格認定協会の研修ポイント(2点:領域②)を申請予定です。

※研修証明書は、osccponline@gmail.comから添付ファイルでお送りします。

退席(遅刻・早退を含む)は30分以内を限度とします。

5. 問い合わせ先

お問い合わせは、下記の大阪府臨床心理士会事務局まで、メールまたはFAXをお願いします。

お名前と臨床心理士番号を必ずご記入ください。当会の会員確認および参加申込の確認をいたします。

携帯電話端末向けに提供されているメールアドレス(キャリアメール)でお問い合わせの場合、事務局から返信しましても、エラーでも戻ってることがございます。ご注意ください。

2週間以内に返答がない場合は、当会事務局へ届いていない可能性があります。パソコンからのメール(osakacp@osccp.jp)が受信可能なメールアドレスから、再度お問い合わせください。よろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】

大阪府臨床心理士会事務局

E-Mail:osakacp@osccp.jp

Fax:06-6942-5110

Home Page:https://www.osccp.jp/

